

1/40スケール スチームヨット

か も め

組立説明書



株式会社齋藤製作所

千葉県市川市稲荷木3-22-7

TEL: 047-378-4156 FAX: 047-378-4155

<http://www.saito-mfg.com>



この度は、スチームヨット・カモメをお買上げ頂きありがとうございます。

製作にあたり、次の工具、接着剤を用意すると便利です。

工具 目の細かい小さいノコギリ、小さなカンナ（バルサカンナ等）、ラジオペンチ、ニッパー、ヘヤードライヤー、半田ごて、ピンセット、リユーター（小さい電気ドリルセット）、ヤスリ、（平巾10ミリ位、丸3ミリ、8ミリ位）、サンドペーパー240番、80番、コンパス、ヒートソネジ込み用6φ×200ミリ先端に金キリノコで深さ5ミリ位ミゾを入れた棒等

接着剤

① シアノ系瞬間接着剤 約20g

濃いめと薄めがありますが、薄めがよいです。少量、接触面をできるだけ平らにすることがコツです。量を多くつけすぎた場合は布でふきとって下さい。この時促進剤を使用しますと瞬間的に接着します。

現在、20g入が約1,000円で模型店で市販されています。ハウスなどベニヤの仮止めには威力を発揮します。工作スピードが驚異的に早くできます。

② 5分間型エポキシ接着剤 約80g

これも接着にはヘヤードライヤーを使用し、針金等で誘導しますと、量も少なく、きれいによく接着します。接着スピードも早いです、もりつけの時はヘヤードライヤーは使用しません。

③ 30分間型エポキシ接着剤 約35g

船体と甲板接着に使用します。この場合はヘヤードライヤーは使用しません。冬は周囲温度が20℃以上が良好です。

塗料

（吹き付け）

ラッカー	白	1/5ℓ
	緑	1/5ℓ
	黄	少量
	黒	"

（はけ塗り）

ブラカラー	緑
	マホガニー
	グレー
エナメル	黒鉄
	白、黒

		カシユ(商品名) クリヤー、及内部塗装用
ラッカーサフエーサー	500g	カシユ№53 (化粧甲板、ドア、マスト
パテ	少量	塗装用)
シンナー	2ℓ	
水ペーパー	400番 3枚、 800番 1枚	
サンドペーパー		

3Tシナベニヤ、ダイカット部品は部品番号の印の方を裏側に使用して下さい。

キール(2ヶ)は使用しません。

1. 船体

図面により船体舷側線上のヤスリによる修正をして下さい、セーラー中の荒目ペーパーで船体内部(接着面付近)のペーパーがけをします。(グラスファイバーは接着する前に必ずペーパー等で一度取って下さい。半田付けの要領です、1日位は有効です。船体内部で甲板より上に出る部分はヤスリ等で厚みの修正をして置きます。船体内側に舷側上より23ミリの線引を左右コンパスでひきます。次に4ミリ角ヒノキ材の上部を線に合わせ、クリップで止めます、接着する前に左右、寸法等確認します。①で仮止めしましたら船体を横にして4ミリ角ヒノキ材の裏側より②をヘヤードライヤーで接着します。次にスタンチューブ、舵、等の穴を図面を参照して明けて下さい。

エンジンベット⑤9にエンジンを取付けて(図面参照)船底にのせ、ユニバーサルジョイントを付け、スタンチューブへ⑬⑭をはめて軽く回るところでスタンチューブに⑮だけ①で接着します。次に船体に⑬をはずして差し込み⑯を入れ⑬を取付け軽く回るところで①で接着します。プロペラシャフトにプロペラ、ジョイントを付けジョイントが1ミリ位動くようにエンジンベットを調整します。次に①で⑰⑱⑲を仮止めし、この時⑤9を接着しないように注意します。

②で周囲に隙間のないように接着します。エンジンベットにエンジン、ボイラーバーナーを取付けます。(図面参照)(ベットはカシユ系塗料を塗ります)。サーボモーター取付板⑤3に使用するサーボに合わせ、穴明けし、エンジン、スロットルレバー(ボイラー、レギュレーター)エンジン、リバースレバーのロッド穴を加工して置きます。

2. 甲板

③甲板は初めに⑤を裏側にクランプ等で固定し、①で接着後②で接着します。船体に接

着する時は③で接着します。甲板が浮き上がるので「カイモノ」を当てガムテープ等で固定します。次に甲板上ブルーワーク部に⑥⑧を接着します。

セット中のプライマー（④のピン、蒸発力及び引火性が強いですから充分気をつけて下さい）を筆で⑥⑧ABS側に塗ります、20分以内に③で接着します。化粧甲板の張り方は周囲を張り、次に中央を張り、中央より左右周囲に向け①で接着します。（サンドペーパーで角を取ります。図参照）

⑦⑪ステーは船体塗装後①で接着後白エナメル塗りです。

ハウスプリット⑤⑤は⑦⑨に差し込み式にして置きます。船体上部が出来ましたら舷側丸窓⑩の穴明け等をして置きます。上甲板及ハウス、前後ハウスの組立は上甲板⑭を船体にのせ（後部は差込式）組立てた物を所定の位置に①で接着し、ベンチレーター、煙突等、又小物部品は塗装後①で接着、ベンチレーター、煙突は①で接着後②で裏側より接着します。

上甲板に化粧甲板を張るのは上甲板ハウス塗装後張ります。

3. 塗 装

船体は外部の傷等、水ペーパー400番で充分ペーパーをかけます。甲板上は紙テープ等でマスキングします。外側全体にサフェーサーを3回塗ります。1回毎に良く乾燥してから、水ペーパーをかけ、へこみはパテで埋めます。次に図面参照の上、吃水線の所に紙テープを張り、下を新聞紙でカバーし、白ラッカーを3～4回塗ります。今度は上部をカバーして水線下をライトグリーンに塗ります。良く乾燥してから小物部品を①で接着しますが余分に付きますと塗料が溶けますので注意して下さい。舷側の小丸窓は①で接着後、穴は明けずに内側に水色を塗ります。

張線、手スリは白エナメルで塗ります。化粧甲板、ドア、マストはカシユNo53を塗ります。

船体内部は刷毛でカシユ（好きな色）を塗って下さい。カシユはアルコールに侵されません。上甲板ハウスは白ラッカー、煙突は外箱を参照して下さい。下はビスケット色（白に黄を少量）中間は赤、上は黒です。

4. 織 装

張線ヒートン⑦⑤ネジ込み後スプリングにワイヤーを通し銅線⑥⑥を4回巻いたら①で接着し、ヒートンにスプリングを掛け反対側のヒートンにスプリングを掛けスプリングワイヤーを掛けたら3ミリ位引張って銅線を巻き①で固定します。船体後部日除支柱は舷側に20

ドリルで穴を明け、寸法より3ミリ位長く出し、板でゲージを作り、ペンチ等で切断し、曲がりを修正後⑩で接着します。周囲は予め曲げておき、船尾中央より左右に半田付けします。手スリ取付穴1.1φドリルで穴明後、線を通し垂直を見ながら⑩で固定し、線と支柱の球の所にも⑩を付けます。

アンテナ受信器アンテナ線を⑫に半田付けします。上甲板裏側より⑬に⑬銅線を半田付けし後部マストまじ前部部スネに帳ね返します。

5. バラスト

船体を運転状態にし、(水、アルコールを入れておく)船体内部に鉛等で吃水を合わせ

ます。

(図面の吃水線迄、バラストで必ず合わせて下さい。吃水が浅いと転覆、沈没する恐れがあります。)

6. 走航

エンジン各部に充分注油し、ボイラー、バーナーに規定の水、(船体は水平に)アルコールを注入する。バーナーが点火したら夏、冬、外気により、ニードルを調整し、最初はあまり速くには走航させず、10~20m位の所で状態を見て下さい。バーナーの音が目安ですから、もしバーナー音が止まりましたら速みやかにもどします。夏など温度が高い時はバーナータンクが過熱しますからニードルを締めて行きます。寒い時は開けます。バーナーの取扱いがポイントです。

※ デカールの張り方

表の紙をはがして必要な部分をおおよそに切り取って張る部分に薄いセッケン水を塗り、上から位置が決ったら押えます。表の紙は水を付け、のりが緩んだら静かにはがします。

スチームエンジン付 **かもめ**の取扱には

下記事項を充分守って下さい。

- ☆ アルコール入りの容器はバーナーにアルコールを注入後は必ず蓋をしてバーナーの近くに置かないで、離れた場所に置いて下さい。
- ☆ 運転中は、エンジン、ボイラー、バーナー、煙突を上から見ないで下さい。ボイラーの安全弁と、エンジンの排気関係からスチームが、又煙突からは熱気が出ますので注意して下さい。
- ☆ 運転終了後でもボイラー、バーナー、エンジンは熱いので、さめる迄触れないで下さい。
- ☆ スクリューが回転している時には絶対に手を触れないで下さい。
- ☆ エンジンが始動しないときに、スクリューを手で回して始動することは大変危険ですからやめて下さい。
- ☆ ボイラー及びバーナーを他の目的の為に使用した時、または変則的に取り付けて発生した事故は責任を負いません。
- ☆ 走航中に衝突等もありますから十分に気を付けて下さい。

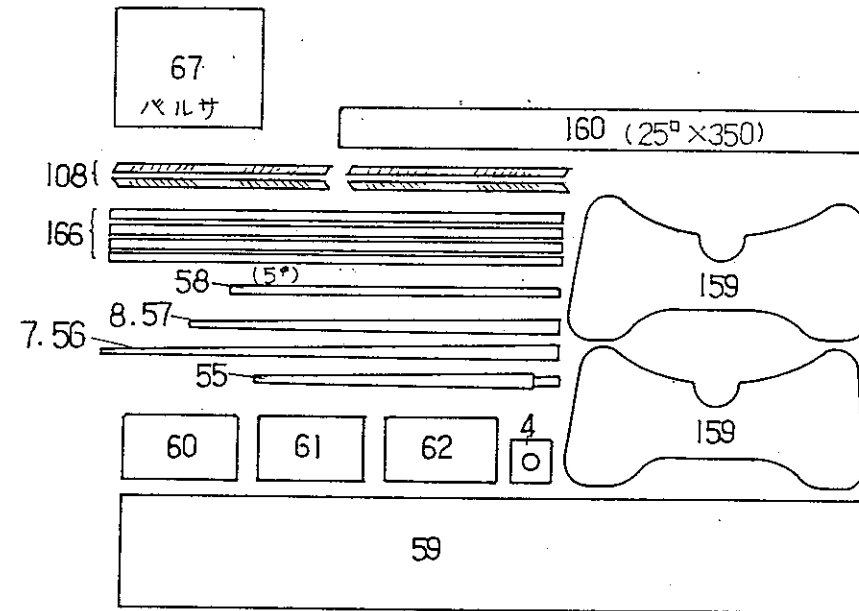
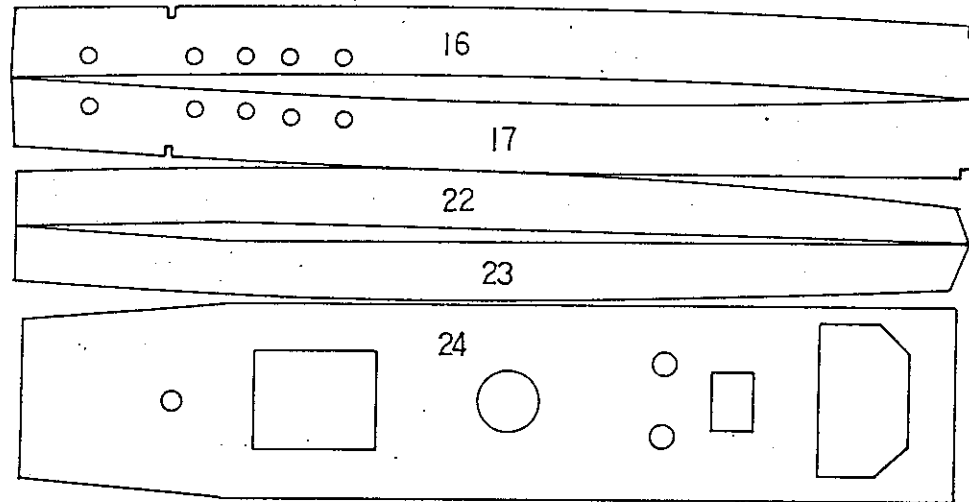
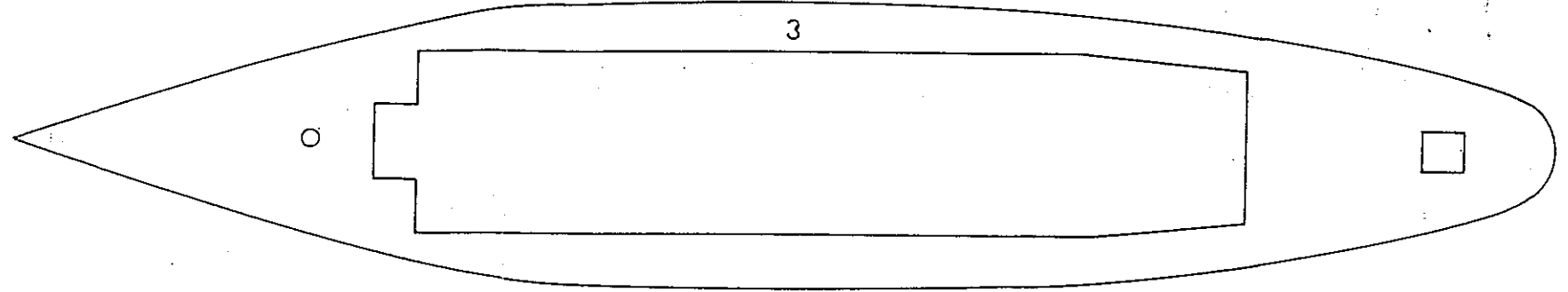
カモメ 木製 部品番号表

KAMOME

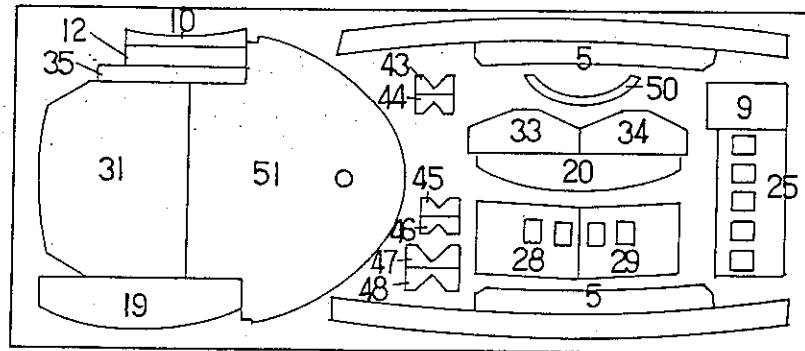
お客様にお願い

部品を打ち抜く前に、この部品番号表により、各部品に番号を記入して下さい。組立の際は、部品番号を記入した面をうら側にして下さい。

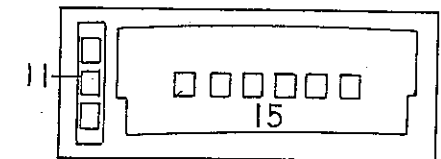
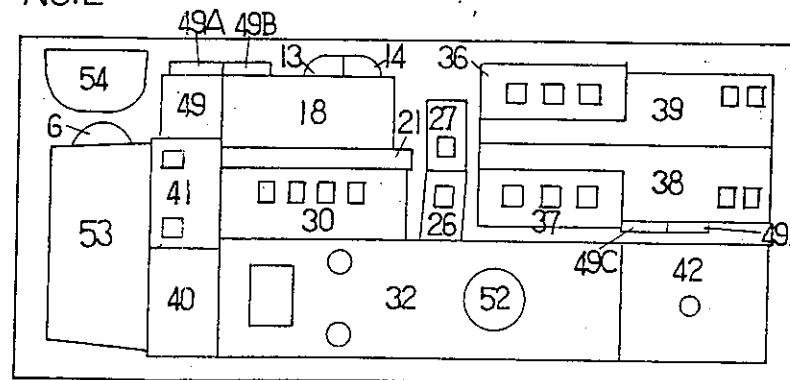
Die-cut plywood parts number list Wishing : Please number each part by this list prior to detaching it from the plywood. When assembling, use the back where it is unnumbered.



NO.1



NO.2



ASSEMBLY INSTRUCTIONS, ETC.

FOR

STEAM YACHT " KAMOME "

SAITO SEISAKUSHO, LTD.

7-22, 3-chome, Tokagi,
Ichikawa City, Chiba Prefecture
Japan

TEL. 0473-~~23-156~~4156
0473-78-4156

Glassfiber should be stripped 1 sheet by sandpaper before glueing. Just same as soldering and one day is available. Also, modify the thickness of the hull inside sections, which are above the decks, with files. Use compass and make 23 m/m line bilaterally in the hull inside from the broadside top. Next, put together the top of Hinoki (wood material 4 m/m) to the line and fasten it with clips. Make sure right and left, sizes, etc., before glueing. Use [1] for temporary glueing and lay the hull so as to glue with [2] from the back side of Hinoki (wood material 4 m/m) by hair dryer. Make various holes such as stern tube, rudder, etc., in accordance with the drawing. Engine should be fixed on engine bed (59) (See drawing) and fit on the ship bottom. Then, attach universal joint and (131) (134) should be fixed to stern tube for easy revolution. And only (131) should be glued to the stern tube with [1]. Take off (134) and insert (52) while (134) is attached. And a point, where allows easy revolution, should be glued to the hull with [1]. Attach propeller joint to propeller shaft and the joint is allowed to move about 1 m/m by adjusting the engine bed. (60) (61) (62) are temporarily fastened by [1]. At this time, do not glue (59). Glue with [2] without any crevices in the surroundings. Attach engine and boiler burner to the engine bed (See drawing). Coat cashew paint on the bed. Make holes, which are fitted to Servo motor on its fitting board (53), and also drill for engine throttle lever (boiler and regulator) and engine reverse lever rod.

Deck

First, (5) are fixed to the back of deck (3) by clamps and glue with [2] after glueing [1]. Use [3] in case of glueing to the hull. Fix with gum tape, etc., attaching supporters to the decks because they are warped. (68) is glued to bulwark section on the decks. Coat (B) (Caution: Inflammable and volatile liquid), which is packed in the kit, to (68) ABS side and glue with [3] within 20 minutes. Glueing of decorative deck planks starts from the surroundings and glue the center. From the center, glue with [1] toward right and left sides. Round off the corners by sandpapers (See drawing). (71) should be painted by white enamel after hull paint and is glued. (55) is a plug-in type against (79). After completion of the upper section of the hull, make holes for gunwale round windows (109). Assembly of the upper deck and houses (Forward & Backward) is glued with [1] at the designated positions after placing the upper deck (24). (The backward section is a plug-in type). Ventilator, funnel and other small parts are glued with [1] after coating. After glueing of [1] for ventilator and funnel, glue them again from the back with [2]. After coating of the upper deck house, glue decorative decks on the upper decks.

Navigation

Lubricate every part of the engine and pour regular water and alcohol into the boiler and the burner. The ship should be in a horizontal position. After ignition of the burner, adjust the needle valve by outdoor temperature. First, check the sailing conditions within 10 - 20 meters and do not sail for a long distance. Burner sound is a key point and return the ship at once if the sound is stopped. In summer, the burner tank is overheated because of high temperature so that, in this case, close the needle valve accordingly. On the other hand, open it widely during low temperature. Again, burner handling is the most important factor. Bon Voyage !

38	Cabin (Side)	1	3 m/m	Linden Veneer
39	"	1	"	"
40	" (Front)	1	"	"
41	" (Rear)	1	"	"
42	" (Roof)	1	"	"
43	Boat Chock	1	"	"
44	"	1	"	"
45	"	1	"	"
46	"	1	"	"
47	"	1	"	"
48	"	1	"	"
49	Back Capstan Base	1	"	"
50	Veranda	1	"	"
51	Bulkhead	1	"	"
52	Shaft Bracket	1	"	"
53	Servo Fitting Board	1	"	"
54	Rudder	1	"	"
55	Bowsprit	1	"	"
56	Front Mast	1	"	"
57	Back Mast	1	"	"
58	" " Arm	1	"	"
59	Engine Bed	1	"	"
60	Engine Bed Fitting Board	1	"	"
61	"	1	"	"
62	"	1	"	"
63	Wood Screw 3 x 10	6	"	"
64	Hinoki Pole 4 x 4	4	"	"
65	" " 3 x 3	6	"	"
66	Deck Plank 1.5t x 6	65	"	"
67	Balsa Board 1.5t	1	"	"
68	ABS 3 x 3	3.5	m	Cutting required
69	" 1t x 25	2	m	"
70	" 1t x 10	150	m/m	From 1.5t x 60 x 50
71	" 1t x 6	250	"	Cutting required
72	Brass Wire 2 m/m	2	m	"
73	" " 1 "	7	m	"
74	Bowsprit Ring	1	"	"
75	Fittings	50	"	Brass
76	Spring	18	"	"
77	Chain	500	m/m	"
78	Wire	3.3	m	"
79	Bowsprit Socket	1	"	Brass
80	Setting Pin	18	"	"
81	Bracket	2	"	Brass
82	Anchor	2	"	Antimony Coating
83	Grommet	6	"	Brass
84	Capstan	3	"	Aluminum
85	Round Window (Small)	56	"	Brass
86	Bollard	8	"	Aluminum
87	Mast Flange	2	"	Brass
88	Mooring Pipe	6	"	"
89	Lamp	2	"	"
90	Mast Ring	1	"	"
91	Mast Cross Beam	2	"	Assembled
92	//////	//////	//////	Missing No.
93	//////	//////	//////	" "
94	Pulley	11	"	Plastic (Paint white for Antenna Pulley)

151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 49A
 B
 C
 D
 98A
 99B

	Missing No.
Control Rod	Single Screw, 2 x 30
" "	" " , 2 x 80
" "	" " , 2 x 125
	Missing No.
	" "
	" "
	" "
	" "
	" "
Connector	Phosphor Bronze
" "	" "
Antenna Wire	Copper Wire, 0.3
" U " Nail	Brass
Stairway Footboard	Missing No.
Back Capstan Base	Deck Plank, 1.5t x 5 W.
" "	3 m/m Linden Veneer
" "	" "
" "	" "
" "	" "
Side Light Box	Brass
" "	" "
" "	" "
" "	" "